

広報

# うわじまちくしょうぼう

第76号

宇和島地区消防本部  
宇和島地区防火協会  
<http://www.119.uwajima.nanpu.or.jp/>

## 春の火災予防運動

3月1日（日）～ 3月7日（土）

### 「もういいかい 火を消すまでは まあただよ」

#### 【住宅防火いのちを守る7つのポイント】



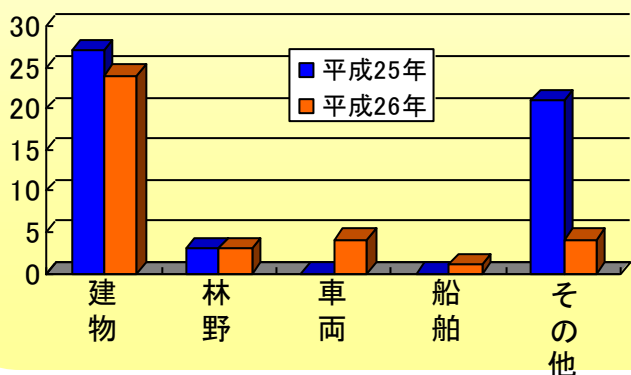
- 3つの習慣
  - 1 **寝たばこ**は、絶対やめる。
  - 2 **ストーブ**は、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
  - 3 **ガスこんろ**などのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 4つの対策
  - 1 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
  - 2 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防炎品**を使用する。
  - 3 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
  - 4 お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

## 平成26年中の火災・救急速報



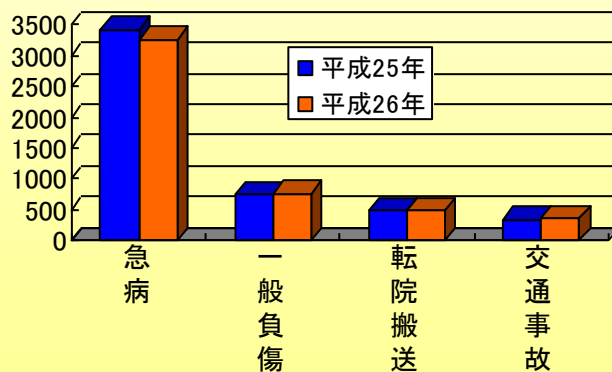
### 火災概況

平成26年中に宇和島地区管内で発生した火災は36件で、前年の51件に比べ15件の減少となっております。広域消防発足（昭和54年）以降最少の火災件数となっております。また、月平均出火件数としては3件となり、およそ10日に1件の割合で火災が発生したことになります。火災種別では、建物火災24件、林野火災3件、車両火災4件、船舶火災1件、その他火災4件となっております。出火原因では、こんろ6件、ストーブ6件、たき火5件、放火3件、枯草焼き2件となっております。



### 救急概況

平成26年中の救急出場件数は4,999件で、前年に比べ115件減少し、搬送人員は4,692人で99人減少しています。事故種別では、最も多いのが急病で3,271件、次いで一般負傷757件、転院搬送477件、交通事故354件などとなっております。なお、**救急車で搬送された人の約45%は軽症**です。この中には、本来、救急車が必要でなかった人や、救急車をタクシー代わりに利用する方も含まれている可能性があります。



## 文化財防火デー：宇和島城防火訓練



宇和島消防署による放水

昭和24年1月26日に法隆寺金堂から出火した火災によって、世界的至宝と言われた金堂の壁十二面に描かれた仏画の大半が焼損しました。このような被害から文化財を守るとともに、国民一般の文化財愛護に関する意識の高揚を図るため、昭和30年から消防庁と文化庁の共唱により、1月26日を「文化財防火デー」と定めて、文化財建造物等における防火運動を全国で展開しています。文化財防火デーにあわせて宇和島市においても1月23日に「宇和島城防火訓練」を実施しました。



「鶴島小学校少年消防クラブ」・「城山を見守る会」によるバケツリレー

# 阪神・淡路大震災から20年！

1995年（平成7年）1月17日午前5時46分、明石海峡を震源地とするマグニチュード7.3の直下型地震によって明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市など阪神間の各都市および淡路島北部が最大震度7の激しい揺れに襲われ、各地で甚大な被害が発生しました。死者6,434名、行方不明者3名、負傷者43,792名、家屋の損壊639,686棟。地震による火災での焼損棟数7,574棟にのぼりました。

交通関係については、港湾埠頭の沈下、山陽新幹線の高架橋等の倒壊・落橋等、鉄道会社13社において不通、道路関係では地震発生直後、高速自動車国道、阪神高速道路等の27路線36区間において通行止めになるなどの被害が発生しました。

また地震発生直後から長期間にわたるライフライン（上下水道・電気・ガス・電話）の不通、消防・救急体制の混乱、各種産業・企業への被害、文化財への被害など、被害総額はおよそ10兆円に達しました。



神戸市長田区



神戸市長田区商店街



神戸市灘区国道43号

※写真：「阪神・淡路大震災『1.17の記録』」より

## 南海トラフ巨大地震 津波災害に備えて

南海トラフ巨大地震が今後30年以内に70%の確率で起きるといわれています。阪神淡路大震災を忘れず、「今、地震が起きたら、どうなるのか」想像して、できることから備えましょう。

- ◎水の確保：一人一日あたり3リットルの飲料水が必要だといわれています。いっぽう水は「飲む」だけでなく、「洗う」「消す」「トイレで流す」などいろいろなところで使う必要があります。
- ◎転倒防止：タンスや本棚、ピアノなどの家具は地震によって倒れることのないよう、L字金具などを使ってしっかり固定しましょう。
- ◎家族会議：避難場所の確認をはじめ、崖やブロック塀など危険な所のチェック、非常時の連絡方法などを決めておきましょう。

### 【大津波警報・津波警報が発表されたら】



いち早く海岸から離れ避難してください。



近くの高台や津波避難タワー、津波避難ビルなどに避難してください。



津波は繰り返し襲ってくるので、警報が解除されるまでは、避難を継続してください。

## 石油ストーブの安全な使い方

石油ストーブが原因による火災が多発しています。次のことに注意して火事を出さないようにしましょう。



給油の際は必ず石油ストーブを消火し、灯油を使用してください。毎年、灯油と間違えてガソリンを誤給油してしまい火災となる事故が起きています。給油後はカートリッジタンクの口金を確実に閉めてください。



石油ストーブの周囲や上に、洗濯物などの燃えやすいものをかけないでください。乾燥して軽くなった洗濯物などが対流熱による上昇気流で外れ、石油ストーブの上に落ちて火災になります。また、カーテンなどの可燃物とは十分離してお使いください。



スプレー缶やカセットボンベを石油ストーブの上や前など、熱が直接あたるところに置かないでください。熱でスプレー缶内部の圧力が上がって破裂し危険です。石油ストーブの近くでスプレー缶使用やガス抜きなどは行わないでください。火災の危険性があります。



石油ストーブはカーテン、布団などの燃えやすいものの近くでは使用しないでください。火災になるおそれがあります。

